
沖銀小説

流麗

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

沖銀小説

【コード】

N2020H

【作者名】

流麗

【あらすじ】

沖銀小説です沖田が銀さんベタばれですまた銀さん女体化してますので苦手な方はバックしてください

仕事しよじよ…

サボリ魔だね…

仕事はやるつよ

給料

泥棒

「あんたから来るなんてめったにありやしませんからね

俺もキメないと」

なにを

だよ

「ちなみに 俺副長だから 君より上だから」

「もうすぐ土方さんが死にまさあ」

おーい

「俺たち夫婦だろ?…」

「ええ可愛い奥さんで俺は幸せもんですねい」

だめだ こいつ

「チャイナは元気

ですかい?」

神楽?

「元気元気 すっげー元気 飯何杯食つてると思ってたんだよ」

「へえ、この頃俺に突っかからなくなったから病気が何かかとおもいましたぜ」

「ああ そりゃ総悟に遠慮してんだろ」

「遠慮ですかい。そりゃすごい」

「沖田くんは…間違えた総悟くんは可愛いからね子どももきつと可愛いだろうね〜（笑）」

「俺は銀時さん似がいいでさあ、嫁になんかいかせやしませんでい」

「うん 安易に想像つく」

「男つれてきたらぶつとばしてやりますぜい？」軽く想像でき苦笑した

「殺しちゃだめだよ」 「約束は出来ませんぜい銀時さん」

e n d

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2020h/>

沖銀小説

2010年10月10日15時48分発行